

With (ウィズ) コロナもいよいよ次の段階に入りそうですね。
私達、一足お先にコロナワクチン接種します！



訪問看護のおはなし

R2年11月号でご登場のK様。(90歳代・女性) 体調管理を目的に隔週1回の訪問ですが、先日訪問中に意識喪失されてしまいました。急に様子がいつもと違う状態となり、同居のお嫁様と一緒に救急搬送の手配を。救急隊が到着するころには、少し回復されご自分のお名前を言える状態に。無事に見送り訪問を終えました。その日の午後、お嫁様からお電話がありました。搬送先の病院での検査の結果、重大な異常はなく一過性の症状だろうとのこと、帰宅されたとのこと。そして「居てくださって本当に助かりました。もし私一人だったらどうなっていたか・・・考えると今でも涙が出ます。(訪問したスタッフに) どうぞ宜しくお伝えください。ありがとうございました。」と。「こちらこそありがとうございます。不安な時はいつでもご連絡ください。」とお伝えしました。(^^)

R2年12月号でご登場のY様。(70歳代・男性・認知機能低下あり) それまで足の処置を行っていた奥様が訪問初日からとても喜ばれ「今までこれでいいのか不安だったから助かるわ。(訪問看護を) 頼んで本当に良かった。」と、即座に訪問回数を増やしたいとのご要望があり、週1回の予定だった訪問が2回へと増え、毎回楽しく訪問させて頂いています。

K様の足の潰瘍は、しばらく悪化も改善もしていない状態でしたが、その後、薄紙をはぐように徐々に改善。2月上旬には奥様が「先生から、傷が良くなったから処置は(潰瘍治療薬から) 保護剤に変更し、このままよくなれば4月くらいには処置はなくなる、と言われました。看護師さん達のおかげです！ありがとうございます。」と、改めてお礼のお言葉をいただきました。

週に2回の私達の訪問で治ったわけでは・・・(^_^;) と思いつつも、ご家族にそのように思ってもらえることはとても感謝です。

ご家族からこのようなお言葉を頂くと、ご本人へのケアのみならず、ご家族に『安心』を提供できているのかな、と感じることができます。同時に、これからも信頼される存在でありたい、と強く思う私達です。

365日平日料金にて訪問いたします！

「気管切開」 「人工呼吸器装着」 「吸引」 「入浴介助」

「健康管理」 「服薬管理」 「腹膜透析」 など、

どのような内容でも大丈夫です！

ぜひご連絡ください！

